

# 活動報告 9月

活動日 : 2011年9月18日・19日

活動場所 : 石巻市湊地区・松並地区

活動参加者: 下村直資

## 9月18日

早朝、石巻駅に着いて湊小学校へ。2か月ぶりの石巻ですが、商店街をはじめとして湊小までの市街地は7月に来た時と全く変化がありません



7月同様、人の気配もなく、静かな朝です。

4月初旬にこの場所を訪れたときはとにかく騒然としていて、粉塵が舞い、自衛隊、警察、ボランティア、そして片付けをする住民、それらが入り乱れて收拾がつかないといった状態でした。6月、7月の活動を経てこの9月、また訪れてみると一気に人の気配がなくなって（「減った」を通り越して）いることに気づきます。一通り片付けが済むと、住民たちはこの町を離れ、そして湊小学校に避難する人もとうとう100人を切りました。



湊小学校の入り口はまだ相変わらず。アイスランドからの千羽鶴も。

ボランティアセンターは体育館の中に移動していました



第一現場。チーム神戸のメンバーと。6月に片付けをした加藤さんのお宅。リフォームをなさるといふことで壁の板をはがす作業。



玄関は見違えるように片付いていましたが、道を挟んだ向かいはまだ瓦礫の山



骨が出てきた



第二現場。松並地区。ここでチーム神戸のメンバーと一昨日から石巻入りしている福島からのグループに合流。

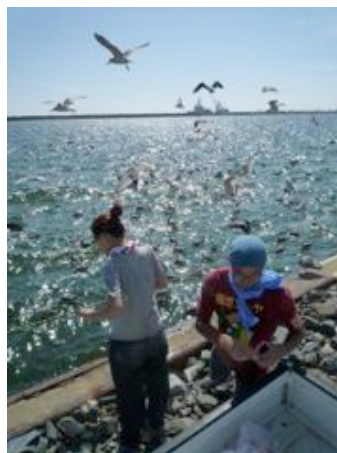


延々と続く側溝 地道に泥をかき出していきます



休憩のひとコマ

昼休み 歩いて5分の港 カモメに餌を手渡し



こんなきれいな海がキバをむくとは...

作業再開 気がつけば夕暮れ



作業終了 湊小へ



ちなみに海から振り向くと この風景 まったく再建の目処が立たない



一日汗を流した仲間たちと



夜 チーム神戸の食事風景 ところかまわずハエがたかる



そして大貧民大会

ボス・K田さんに勝った

9月19日

朝の湊小学校周辺です  
まだこんな有様



朝の配給風景

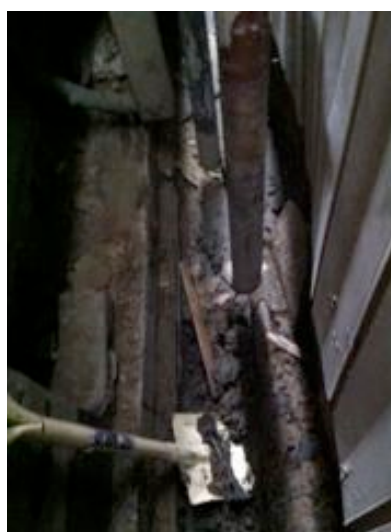


あの車も元気に活躍

第一現場の個人宅 隣の工場との境の溝の瓦礫を取り除き、溜まったヘドロをかき出す



とにかく狭い





差し入れのたこ焼きで休憩



作業終了 運び出した泥と瓦礫



第二現場 湊小学校から 500mほど離れた路上 ここでも泥出し



## 【活動を終えて】

正直わかっていただけるとはいえ、あまりに変わらない被災地の現状に心が沈みます。行政であれ政治であれ、被災地の復興ビジョンをまったく示せていないということを現場において切実に感じます。どのみち国の支援策などアテにすべくもないのですが、ここを訪れる

ボランティアの支援で、被災者が少しでも立ち上がってくれば、また少しでも街が元に戻ってくれば、それを信じて活動をするしかないのです。10月に入り、新幹線は満席になることが多くなりました。観光地にも人手が戻りはじめています。震災後の不景気から立ち直ることは好ましいことに違いありませんが、それとともに、あの悲惨な出来事が人々の記憶から薄れていくことに、どうしようもない虚しさと焦りに毎夜苛まれます。今なお身内を亡くした悲しみが癒えず、不自由な生活に苦しむ人々がいることをどうか忘れないでほしい、そう願うばかりです。

おそらくはこの状況が短期間で変化するとは思えない。その間どう継続的に支援をしていくかを早急に議論しなければならないと思います。